

「習得口頭発表」複合動詞の後項動詞における第2次的アスペクト機能のコーパス分析

キーワード： 完了の後項動詞 第2次的アスペクト 完遂性 継続性 作業性

1. 研究の目的

本研究は、複合動詞の完了の意味を表す後項動詞「～抜く」「～通す」「～果たす」「～尽くす」「～切る」「上げる」を対象に、それらが、第2次的アスペクト（寺村, 1984）として統語論的、意味論的にどのように機能しているか、第1次的アスペクト「～ている」「～ていく」「～てくる」等との共起状況や用例について BCCWJ を用いて考察する。

2. 第2次的アスペクトの効果

以下の表は、「生きる」と「生き抜く」それぞれの「～て（いる）」「～て（いく）」「～て（くる）」の用例の数の比較である（BCCWJ 参照）。

生きて（いる）	4552	生き抜いて（いる）	8
生きて（いく）	2074	生き抜いて（いく）	33
生きて（くる）	882	生き抜いて（くる）	54

複合動詞における第1次アスペクト表現例数が極端に少ないことがわかる。この傾向は、「隠す」と「隠し通す」、「埋める」と「埋め尽くす」との比較でも同様である。すなわち、複合動詞になることによって第1次アスペクト接続において制限がかかることになる。

3. 完了の後項動詞選択の実態

前項動詞がどのような条件によって完了の後項動詞「～抜く」「～通す」「～尽くす」を選択しているのか考える目的で、前項動詞「生きる」「隠す」「勝つ」「こだわる」「語る」「埋める」と後項動詞「～抜く」「～通す」「～尽くす」の組み合わせをすべて作って実際の用例を調べた。以下は、そのデータの一部である。

生き抜く	359	隠し抜く	0	語り抜く	1
生き通す	3	隠し通す	53	語り通す	0
生き尽くす	1	隠し尽くす	0	語り尽くす	44

前項動詞によって非常に明確に後項動詞を選択している実態が明らかになった。

4. 完了の後項動詞選択の条件

「～抜く」接続に関しては、前項動詞は、動作性／意志性が高く、最終的に積極的評価が得られるような行為となるもの。（例：生き抜く：359例 埋め抜く 0例）

「～通す」接続に関しては、行為の継続性が重視されるもの。

（例：隠し通す 53例 こだわり通す 0例）

「～尽くす」接続に関しては、行為の対象物に量的制限があるもの。

（例：埋め尽くす 340例 勝ち尽くす 0例）

5. まとめ

完了の後項動詞は、前項動詞の完遂性・継続性・作業性とのバランスにおいて決定される。